

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：精神保健費

事業名 難治性精神疾患地域連携体制整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3314)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 320 千円 (前年度予算額： 331 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	331	0	0	0	0	0	0	0	331
要求額	320	0	0	0	0	0	0	0	320
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に入院需要及び基盤整備量が国から示され、第7期保健医療計画及び第3期障がい者総合支援プランに目標値を明示し、目標達成のための取り組みを実施することとした。

精神病床に入院中の難治性精神疾患患者は、退院が困難となり入院が長期化しやすいが、治療抵抗性統合失調症治療薬等の専門的治療により地域生活へ移行する例も少なくなるとされているため、難治性患者の治療を実施し、入院需要及び基盤整備量の目標達成に向けて退院を促進させる必要がある。現在のところ、県内における当該治療の普及は一部の医療機関に限られており、各医療機関に専門治療のノウハウを普及するとともに、治療体制の整備を行うことが急がれている。

(2) 事業内容

精神病床に入院中で、従来の治療では効果が乏しく治療抵抗性統合失調症治療薬等の専門的治療が必要とされる難治性患者の治療を円滑に行うため、精神科医療従事者に対し、治療手順や運用に関する知識の普及を図るとともに、精神科と血液内科などの他科との連携体制を構築する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県負担のみ

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	320	精神科医療従事者研修会の開催
合計	320	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
第7期岐阜県保健医療計画
第3期岐阜県障がい者総合支援プラン

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 治療抵抗性統合失調症治療薬等の普及により、治療抵抗性統合失調症患者の退院を促進し、地域での生活を実現させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①地域生活平均 日数	310日 (H28)	-	315日以上	316日以上	-	-
②入院後1年経 過時点の退院率	89.3% (H29)	-	91.6%以上	92%以上	-	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	精神科病院等の関係者を対象に治療抵抗性統合失調症治療薬の効果や注意事項について理解を深める研修会を開催した。
令和3年度	精神科病院等の関係者を対象に治療抵抗性統合失調症治療薬の効果や注意事項について理解を深める研修会を開催した。
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	治療抵抗性統合失調症治療薬等の専門的治療により地域生活へ移行する例も少なくないとされているため、難治性患者の治療を実施し、退院を促進させることは、有効な手段である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	精神障がい者の支援に係る体制整備に専門的治療の普及が加わることで、地域移行・地域定着が推進する。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	精神科病院を会員に持つ精神科病院協会の協力を得て開催することで、高度な医学的な治療内容にかかる研修会を効果的に開催出来ている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 関係機関が情報の共有など円滑な連携を行う必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各医療機関に治療抵抗性統合失調症治療薬等の専門的治療のノウハウを普及するとともに、治療体制の整備を推進する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】